

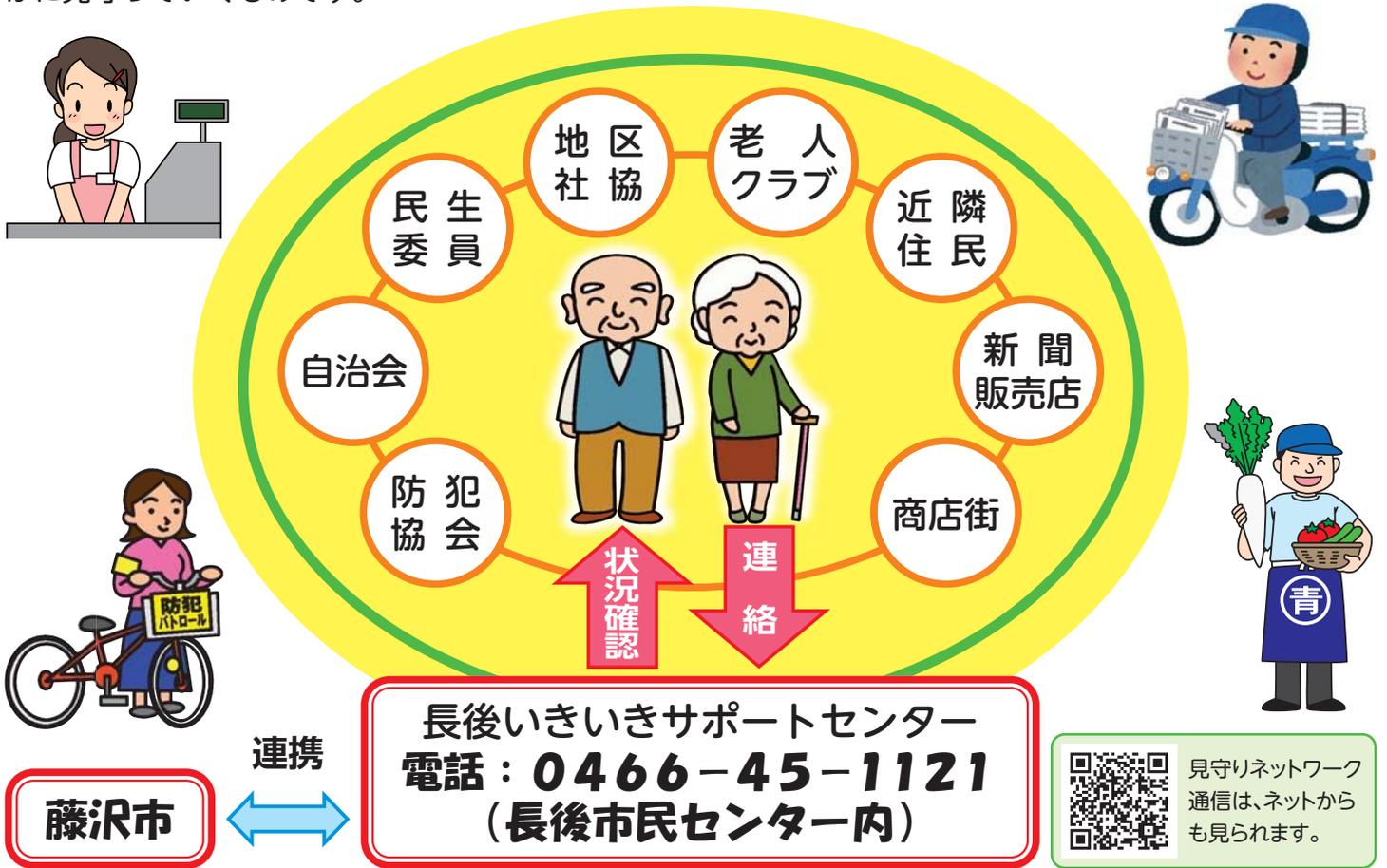
# ちょうご 見守りネットワーク



●2024年3月25日発行 ●長後いきいきサポートセンター(地域包括支援センター) ●電話：0466-45-1121

## ひろがっています！見守りネットワークの輪

ちょうご見守りネットワークとは、地域の皆さんが、日常生活や仕事において高齢者の方のちょっと気がかりなことに気づいたときに、いきいきサポートセンターに連絡していただくことで、高齢者をゆるやかに見守っていくものです。



### ！ 認知症高齢者の行方不明が増えています！！

藤沢北警察署管内では認知症高齢者の行方不明者数が増えています。身元が分からないと家に帰ってくるのに時間がかかったり、最悪の場合、家に帰れないこともあります。

#### 【行方不明をふせぐために】

- ① 病院にかかり認知症の診断を受ける
- ② 名前・住所が言えなければ洋服に書いておく
- ③ 本人の写真をとっておく(本人確認のために必要)
- ④ 徘徊SOSネットワークに登録する(高齢者支援課)
- ⑤ 行方不明になる場所として自宅が一番多いため玄関等に音の出る人感センサーを設置しておく
- ⑥ 疲れを忘れて歩くためGPSを身に着ける(携帯電話、GPS付の靴、キーホルダーなど)
- ⑦ 万が一身近な人が行方不明になった場合、警察に早めに届出を提出する

※藤沢北警察署生活安全課より



# ちよご見守りネットワーク 第一回ワークショップを開催しました！

高齢者の見守り活動が地域に広がるよう、実際に活動している団体や企業が集まり、事例発表を元に意見交換を行いました。

参加者は、郷土づくり推進会議、民生委員、地区社協、交通安全対策協議会、防犯協会、自治会、郵便局、市社協、地域共生社会推進室、市民センター、いきいきサポートセンター等 32 名でした。



## 事例発表

### 【民生委員】

友人の気づきからサービスにつながった事例

### 【郵便局】

地域周辺のみまもり、取り組みについて

### 【いきいきサポートセンター】

一人暮らしの男性を地域で見守る事例

## 【参加された方のご意見】

- 困ったときに行政に相談するのはハードルが高いため、身近に相談できる人がいると良い。
- 事例を聞いて、地域の小さな声掛け、見守りの大切さを再認識した。
- 自治会に加入しない高齢者も増えており、関わるのは難しいが、少しずつきっかけを作りたい。
- 所属団体の会合で今日の話も含め、見守りの必要性を浸透させる必要性を感じた。
- 他企業の事例も聞くなど、回数を重ねて長後のネットワークを強めてきたい。



見守りネットワーク事業  
リーダー



郷土づくり推進会議  
議長



勉強になったキユン